まちの魅力再発見
あみっぺが行く

地震対策どうしてる？

こんにちは、あみっぺです！
令和6年能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興をお祈りしています。
今回は、町の防災について調べてみたよ。

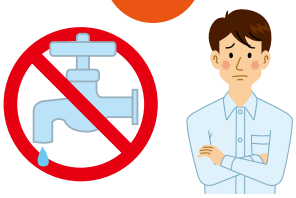
町で震度6弱の地震が起こると・・・

阿見町で震度6弱の地震が起こった場合、ライフラインにどんな影響があるのかな。

電力

被災直後は90%が停電。3日後はほとんど復旧。

上下水道



被災直後は95%、1週間後は28%が断水。

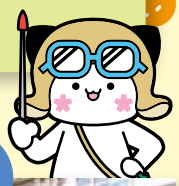
避難者

合計2300人
（避難所1400人、避難所外900人）

出典｜茨城県地震被害想定調査詳細報告書

阿見町ではなにを備えているの？

阿見町は、阿見町地域防災計画に基づいて災害対策を行っているんだって。町内19箇所の指定避難所には防災倉庫があり、食料、飲料水、日用品、資機材等を備蓄しているよ。



公助 -公的機関による救助・援助-

食料

防災倉庫に1400人×3日分の備え。

飲料水

耐震性貯水槽が阿見小学校にある。※1人当たり3Lで33,000人分

生活用水

防災井戸が各小中学校にある。
※電気がなくても使用できる

電気 各防災倉庫に発電機1台。※最大10時間ほど使用できる

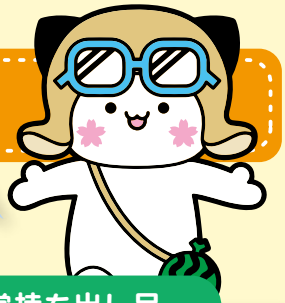
日用品 各防災倉庫に備蓄。　例）トイレットペーパーは18ロールずつ

トイレ 各防災倉庫に災害用マンホール対応トイレ等1基。

ほか　資機材など

みんなにお願いしたい対策

大きな地震で、行政の機能（公助）が不足した時に大切なのは、自助や共助の力だよ！



自助 -自分の身は自分で守る-

ライフライン停止への備え

最低でも**3日分**の備蓄品を備える。

例）

飲 料 水｜1人1日3リットル

食　　品｜調理がいらないもの

生活用水｜ポリタンクやお風呂に水を入れておく。

そ の 他｜衣類、日用品、モバイルバッテリー等

※食料は普段から少し多めに買っておき、消費した分を買い足して一定量を備蓄する。

避難への備え -非常持ち出し品-

避難をするときに持ち出すものを、リュックサックに入れておく。

＼備えがあれば安心！／

共助 -地域で助け合う-

自主防災組織の強化！

自主防災組織は、**自分たちの地域を自分たちで守る**ための組織です。阿見町では、行政区ごとに活動しています。

〇活動内容
- 防災訓練
- 防災資機材の整備
- 地区防災計画の作成

※災害時における行政区での行動指針

ご近所さんと顔見知りになることも、共助のきっかけになるよ！
地域のつながりがある人も、いざという時のため、地域の安否確認の方法を確認してみよう！
次は9月号で会おうね！

※まちの魅力再発見「あみっぺがいく」７月号はお休みです。

防災についてさらに詳しく

防災ハンドブック	ハザードマップ	防災倉庫内の備蓄品

※冊子は役場2階防災危機管理課でお配りしています。

あみっぺに取材してほしいこと募集中！

【投稿方法】
はがき、ファクシミリ、メール

【投稿先】
〒300-0392 阿見町中央1-1-1
阿見町役場 広報戦略室
ファクシミリ：029-887-9560
E-MAIL：hishokochoka@town.ami.lg.jp

【記載内容】
取材してほしい内容
氏名
広報紙に掲載する場合のペンネーム（匿名も可）
連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）

※投稿数が多い場合は、掲載できないこともあります。予めご了承ください。

【お問い合わせ】阿見町町長公室　秘書広聴課　広報戦略室　☎029-888-1111（内線298）